



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社あさくま

上場取引所 東

コード番号 7678 URL <http://www.asakuma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 西尾 すみ子

TEL 052-800-7781

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,849	6.3	224	64.7	239	64.7	69	82.8
2019年3月期	9,447	0.1	635	24.7	679	22.3	401	18.7

(注) 包括利益 2020年3月期 69百万円 (82.8%) 2019年3月期 401百万円 (18.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	13.27	13.13	1.9	5.1	2.5
2019年3月期	85.29		13.4	15.8	6.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	5,063	3,896	76.9	728.99
2019年3月期	4,414	3,195	72.4	678.31

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,896百万円 2019年3月期 3,195百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	53	1,276	629	1,735
2019年3月期	474	265	10	2,328

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期								
2020年3月期		10.00		5.00	15.00	79	113.0	2.2
2021年3月期(予想)								

2021年3月期の配当予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行う事が困難なことから、未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、現段階で合理的な業績予想の算定を行う事が困難なことから、未定としております。

今後、合理的な予想が可能となった段階で速やかに公表いたします。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期 5,344,820 株 2019年3月期 4,710,420 株

期末自己株式数

2020年3月期 株 2019年3月期 株

期中平均株式数

2020年3月期 5,200,786 株 2019年3月期 4,710,420 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,737	5.0	252	60.2	263	60.6	106	74.8
2019年3月期	8,147	2.2	633	23.9	669	22.3	424	4.7

	1株当たり当期純利益
	円 銭
2020年3月期	20.56
2019年3月期	90.07

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	
2020年3月期	4,584		3,872		84.5	724.48	
2019年3月期	4,163		3,133		75.3	665.14	

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,872百万円 2019年3月期 3,133百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、現段階で合理的な業績予想の算定を行う事が困難なことから、未定としております。

今後、合理的な予想が可能となった段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外においては米中の貿易摩擦による世界景気の減速がわが国の景気にも影響を与え、また第4四半期においては新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が進み、世界経済の減速懸念が増大し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、消費者の節約志向が続く中で、2019年秋の相次ぐ自然災害、10月からの消費増税、2020年年初よりの新型コロナウイルス感染症の影響等により、非常に厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に食を通じて感動を提案するエンターテインメントレストラン」という不変的な考えのもと、ステーキハウスとしての品質とお値打ち感のある商品を提供してまいりました。当第4四半期連結会計期間におきましては、各種フェアの効果により前四半期中の自然災害による被害や消費税増税の影響から回復傾向にあったものの、1月下旬に初めて国内での新型コロナウイルス感染者が確認されて以降、少しずつ客数が減ってまいりました。お客様の安心・安全のために、当社のウリの一つであるサラダバーを一時的に自粛（その後、専用トングをご用意する等対策を講じた後、再開しております）する等、お客様に寄り添った営業を続けてまいりましたが、状況を変えることが出来ず、当社の収益に大きな影響を及ぼしました。

当第4四半期連結会計期間における店舗展開につきましては、当社において、2020年1月に直営店「ステーキのあさくま富士吉原店」（静岡県）、3月に直営店「ステーキのあさくま函南店」（静岡県）の新規出店を行い、直営店「ビフテキのあさくま栄店」（名古屋市）を閉鎖した結果、当連結会計年度末現在の店舗数は、直営店が63店舗となり、F C店6店舗を加えて69店舗となりました。連結子会社の株式会社あさくまサクセッションにおいては、出退店を行わなかったため、18店舗（すべて直営店）のままとなっております。また、当第4四半期連結会計期間より連結子会社となった株式会社竹若は13店舗（すべて直営店）あり、これらの結果、当社グループの総店舗数は、100店舗（F C店6店舗を含む）となりました。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度における業績は、売上高8,849,866千円（前年同期比6.3%減）、営業利益224,256千円（同64.7%減）、経常利益239,692千円（同64.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益69,019千円（同82.8%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は5,063,443千円となり、前連結会計年度末に比べて648,995千円増加しました。その内容は、以下のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は2,180,610千円となり、前連結会計年度末に比べて552,136千円減少しました。主な要因は現金及び預金で537,706千円減少、売掛金で47,060千円減少したことによります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は2,882,832千円となり、前連結会計年度末に比べて1,201,131千円増加しました。主な要因は有形固定資産で407,326千円増加、のれんで495,046千円増加、差入保証金で227,567千円増加したことによります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は883,101千円となり、前連結会計年度末に比べて247,004千円減少しました。主な要因は買掛金で202,260千円減少、未払法人税等で106,226千円減少したことによります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は284,046千円となり、前連結会計年度末に比べて194,835千円増加しました。主な要因は、リース債務で58,203千円、資産除去債務で48,340千円増加したことによります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計の残高は3,896,295千円となり、前連結会計年度末に比べて701,165千円増加しました。主な要因は資本金及び資本剰余金で各々342,550千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は76.9%（前連結会計期間末は72.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較し593,006千円減少し、1,735,248千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業キャッシュ・フローは、前連結会計年度474,003千円の収入に対し、53,896千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益169,279千円、減価償却費173,030千円、仕入債務の減少額236,592千円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度265,045千円の支出に対し、1,276,565千円の支出となりました。これは主に、新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得による支出345,293千円、短期貸付けによる支出26,500千円、長期貸付けによる支出693,500千円、子会社株式の取得による支出117,505千円、建設協力金の支払による支出51,469千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度10,493千円の支出に対し、629,662千円の収入となりました。これは主に、株式の発行による収入685,100千円、配当金の支払額52,764千円を計上したこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、米中貿易摩擦の影響が続くなかで新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、世界経済の先行きはより一層不透明な状況が続いております。

(新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報)

サプライチェーンにおいて、PB商品の原材料生産拠点の一部が中国に在り、同国の感染状況次第では生産稼働率の低下や商品の入荷遅延が生じる可能性があります。

また、店舗運営面において、今後の緊急事態宣言の動向等により、店舗の臨時休業や時短営業の実施、外出自粛に伴う消費マインドの低下など、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

次期（2021年3月期）の連結業績見通しにつきましては、当社を取り巻く環境は大きく変化しており、現時点では業績に影響を与える未確定要素が多く、適正かつ合理的な業績予想を算定することが困難なため、具体的な数値の公表を延期し、未定とさせていただきます。

今後、当社グループ各社の状況確認が進み、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、会計基準につきましては日本基準を適用する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,328,255	1,790,548
売掛金	279,867	232,806
原材料及び貯蔵品	58,969	61,586
その他	66,585	97,014
貸倒引当金	△930	△1,345
流動資産合計	2,732,746	2,180,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	809,199	1,078,019
機械装置及び運搬具（純額）	104,090	113,857
土地	87,806	87,906
リース資産（純額）	2,255	73,827
その他（純額）	89,492	146,559
有形固定資産合計	1,092,844	1,500,170
無形固定資産		
のれん	27,191	522,237
その他	8,832	10,048
無形固定資産合計	36,023	532,285
投資その他の資産		
投資有価証券	0	16,601
繰延税金資産	38,458	37,431
差入保証金	498,446	726,014
その他	18,262	72,665
貸倒引当金	△2,335	△2,335
投資その他の資産合計	552,832	850,376
固定資産合計	1,681,701	2,882,832
資産合計	4,414,448	5,063,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	587,330	385,070
リース債務	2,672	21,777
未払法人税等	108,742	2,516
賞与引当金	24,000	21,000
株主優待引当金	—	10,953
その他	407,360	441,784
流動負債合計	1,130,106	883,101
固定負債		
リース債務	—	58,203
資産除去債務	62,510	110,851
その他	26,700	114,991
固定負債合計	89,210	284,046
負債合計	1,219,317	1,167,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,000	857,550
資本剰余金	592,071	934,621
利益剰余金	2,088,058	2,104,123
株主資本合計	3,195,130	3,896,295
純資産合計	3,195,130	3,896,295
負債純資産合計	4,414,448	5,063,443

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	9,447,479	8,849,866
売上原価	3,896,029	3,585,327
売上総利益	5,551,449	5,264,539
販売費及び一般管理費	4,915,775	5,040,282
営業利益	635,674	224,256
営業外収益		
受取利息	178	183
協賛金収入	26,814	12,339
受取補償金	6,570	—
その他	12,182	5,148
営業外収益合計	45,744	17,671
営業外費用		
現金過不足	945	792
和解金	800	1,020
その他	464	422
営業外費用合計	2,209	2,235
経常利益	679,209	239,692
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	1,060
投資有価証券売却益	—	5,999
特別利益合計	—	7,059
特別損失		
固定資産除却損	4,160	—
減損損失	27,597	73,256
店舗閉鎖損失	—	4,216
特別損失合計	31,757	77,472
税金等調整前当期純利益	647,452	169,279
法人税、住民税及び事業税	247,121	99,232
法人税等調整額	△1,414	1,027
法人税等合計	245,707	100,260
当期純利益	401,745	69,019
親会社株主に帰属する当期純利益	401,745	69,019

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	401,745	69,019
包括利益	401,745	69,019
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	401,745	69,019

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	515,000	592,071	1,686,313	2,793,385	2,793,385
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			401,745	401,745	401,745
当期変動額合計	—	—	401,745	401,745	401,745
当期末残高	515,000	592,071	2,088,058	3,195,130	3,195,130

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	515,000	592,071	2,088,058	3,195,130	3,195,130
当期変動額					
新株の発行	342,550	342,550		685,100	685,100
剰余金の配当			△52,954	△52,954	△52,954
親会社株主に帰属する当期純利益			69,019	69,019	69,019
当期変動額合計	342,550	342,550	16,065	701,165	701,165
当期末残高	857,550	934,621	2,104,123	3,896,295	3,896,295

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	647,452	169,279
減価償却費	161,879	173,030
のれん償却額	26,469	17,339
減損損失	27,597	73,256
固定資産除売却損益 (△は益)	4,160	—
店舗閉鎖損失	—	4,216
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,385	△260
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,000	△3,000
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	10,953
受取利息及び受取配当金	△178	△183
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,988	111,592
たな卸資産の増減額 (△は増加)	712	10,920
仕入債務の増減額 (△は減少)	△51,996	△236,592
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△5,999
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,285	208
その他	10,579	△62,367
小計	804,357	262,394
利息及び配当金の受取額	178	183
法人税等の支払額	△330,532	△208,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	474,003	53,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△228,256	△345,293
投資有価証券の売却による収入	—	6,000
短期貸付けによる支出	—	△26,500
長期貸付けによる支出	—	△693,500
無形固定資産の取得による支出	△14,074	△2,177
子会社株式の取得による支出	—	△117,505
差入保証金の差入による支出	△25,096	△49,073
差入保証金の回収による収入	2,381	14,988
建設協力金の支払による支出	—	△51,469
預り保証金の返還による支出	—	△6,000
預り保証金の受入による収入	—	1,500
その他	—	△7,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,045	△1,276,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	685,100
配当金の支払額	—	△52,764
リース債務の返済による支出	△10,493	△2,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,493	629,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	198,464	△593,006
現金及び現金同等物の期首残高	2,129,790	2,328,255
現金及び現金同等物の期末残高	2,328,255	1,735,248

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「有形固定資産」の「その他(純額)」に含めていた「リース資産(純額)」、「投資その他の資産」の「その他」に含めていた「投資有価証券」及び「繰延税金資産」、流動負債の「その他」に含めていた「リース債務」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「有形固定資産」の「その他(純額)」に表示していた91,747千円は、「リース資産(純額)」2,255千円、「その他(純額)」89,492千円として、「投資その他の資産」の「その他」に表示していた56,721千円は、「投資有価証券」0千円、「繰延税金資産」38,458千円、「その他」18,262千円として、流動負債の「その他」に表示していた410,033千円は、「リース債務」2,672千円、「その他」407,360千円として組替えております。

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取保険金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取保険金」に表示していた9,965千円は、「その他」12,182千円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、飲食事業の単一セグメントであり、重要性が乏しいため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	678.31円	728.99
1株当たり当期純利益金額	85.29円	13.27
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	13.13

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、前連結会計年度においては、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	401,745	69,019
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	401,745	69,019
普通株式の期中平均株式数(株)	4,710,420	5,200,786
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	54,131
(うち新株予約権)(株)	—	54,131
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権 410,470個 (目的となる株式数 97,270株)	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,195,130	3,896,295
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,195,130	3,896,295
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	4,710,420	5,344,820

(重要な後発事象)

該当事項ありません。